



令和6年度ご挨拶

北方町立南学園は、開校2年目となりました。今年度は、新1年生65名を迎え、全校児童生徒499名でスタートしました。

本校の教育目標は、

夢に向かってたくましく

自ら学ぶ 自らつながる 自ら切り拓く

です。

この教育目標の具現に向けて、“夢と感動のある南学園”を合言葉に全教職員が児童生徒とともに歩み、知、徳、体のバランスの取れた児童生徒の育成に汗を流し、知恵を絞りたいと思います。

さて、この度、南学園の校長に着任いたしました、堀 正樹です。昨年度まで2年間岐阜県の環境生活政策課で社会教育を担当していました。北方町は、「幼保小中一貫教育」を進めています。15年間を見通した保育教育の中の1年生から9年生の子どもたちが「主体的でたくましい子」として本校を巣立っていくよう努めていきます。



義務教育の期間は、児童生徒の生涯における、ほんの数年間の成長過程ではありますが、人としての基礎を養う大切な場です。経験すべきことを経験させ、身に付けることを身につけさせ、「自律の力」と「共生の力」を養っていくために次のことを大切にしていきます。

(1)子どもに寄り添い、力を付ける学校

- ・児童生徒一人一人の言動と心の内に対する共感的理解を指導の根底にします。
- ・小さな成功を褒めて、前進を後押しします。
- ・発達の段階に応じて教授と学習、習得と活用のバランスを大切に授業をめざします。

(2)安心してがんばることができる学校

- ・命と心を守り、育むことを最優先します。
- ・いじめや差別を見逃ごさない教職員集団。未然防止、早期発見、早期対応に努めます。
- ・保護者や地域の方と顔が見えるコミュニケーションを大切にします。